



ぶんすいれい
吉野川の分水嶺を歩く！

朝焼けの霧氷と子持権現山

こんにちは。山登り好きの「岳」です。
山好きな私が吉野川の分水嶺を歩きながら、読者の皆様に吉野川流域の山々の素晴らしさと現状を紹介したいと思います。

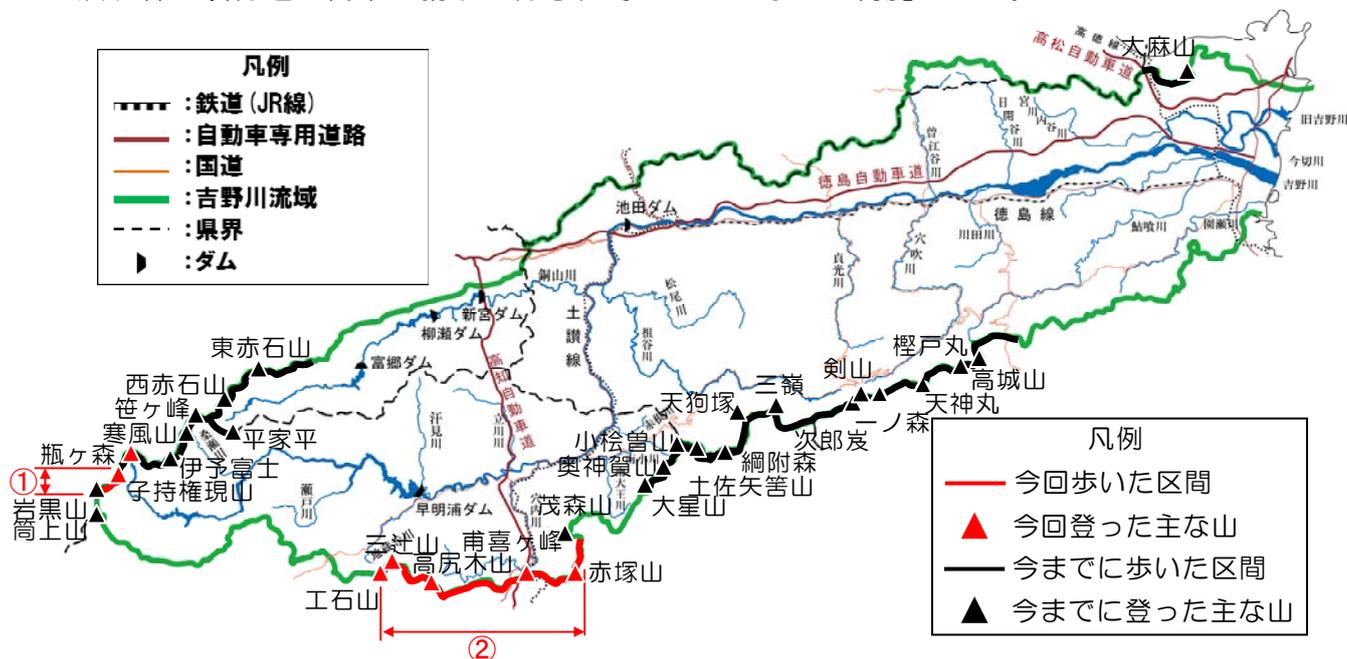
第7回は、吉野川源流の瓶ヶ森から石鎚山登山口の土小屋(流域図参照①)、高知県側の茂ノ森東側の峠より^{ほきがみね}甫喜ヶ峰・^{ねびき}根曳峠を経由して^{くいし}工石山(流域図参照②)までを紹介します。



瓶ヶ森(女山)

11月24日は日本列島に寒波がやってくるということで一段と寒くなる日に吉野川の源である瓶ヶ森から石鎚山の登山口でもある土小屋まで行ってきました。

瓶ヶ森山頂付近は樹木に霧氷が付き、薄らと白くなって綺麗でした。





瓶ヶ森から見た西黒森・伊予富士



瓶ヶ森から見た石鎚山



瓶ヶ森から見た太平洋(土佐湾)



瓶ヶ森から見た筒上山

瓶ヶ森山頂からは、東方面に笹ヶ峰・伊予富士など、西方面には石鎚山、南西方面には筒上山、南には太平洋も見えました。

瓶ヶ森の南に「子供を負ひたるような滝」の由来も持つ、突き出した岩峰の子持権現山こもちごんげんやまがあります。山頂までは約 70m 間にある鎖 1 本の登山道を登ります。冬は岩が凍っていることもあり危険ですので、季節を選んで登ってください。

子持権現山からしらす峠、よさこい峠の尾根沿いの登山道を歩いて、分水嶺から少し外れた石鎚山の登山口でもある土小屋に到着しました。その頃には昼前から降り続いた雪が一面に積もっていました。



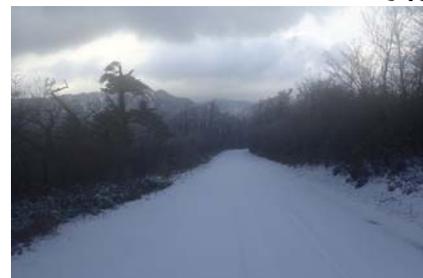
瓶ヶ森の霧氷のトンネル



子持権現山の鎖一本の登山道



雪が積もったササで覆われた登山道



雪が積もった町道瓶ヶ森線



石鎚山の登山口の一つである土小屋

11月19日・12月2日・12月16日の3日間で高知県側の茂ノ森^{しげのもり}東側の峠より甫喜ヶ峰・根曳峠を経由して工石山まで行ってきました。

まず最初は11月19日、早朝は雪のちらつく空模様の日、茂ノ森東側の峠より甫喜ヶ峰を経由して国道33号線の根曳峠まで歩きました。

この辺りは、植林がされ、ちょうど伐採後で新しい木が植樹されていました。

進んでいくと、今年の台風で倒れたと思われる桧が横たわっていました。尾根沿いは風がよく当たるのか至る所で風倒木が見られました。

分水嶺の尾根の上に立派な石垣があり、その中に祠またはお墓らしきものがありました。また、石灰岩が露出しているところもありました。

香美市の根曳峠東側にある甫喜ヶ峰森林公園は昭和53年に天皇陛下をお迎えして植樹祭が行われ、会場となったこの場所を県民の憩いの場、児童や生徒の皆さんの森林自然体験や学習の場として幅広く利用できるように整備されたものです。キャンプ場や展示学習館もあります。

高知自動車道と国道32号線の根曳峠との間に四国最大のソーラー発電所があります。年間発電量は四国最大規模の約4千万キロワット時、一般家庭約1万1千世帯の年間使用量相当を見込んでいるそうです。



茂ノ森と植林伐採後の植樹



台風の風で倒された桧



桧の風倒木



石垣の中の祠？墓？



露出した石灰岩



甫喜ヶ峰森林公園内にある
風力発電



甫喜ヶ峰森林公園



四国最大のソーラー発電所

12月16日は、根曳峠から南国市井ノ沢まで歩きました。このルートも台風の影響で桧などの風倒木が多く、また、道はありますが登山道としては整備されていませんので、ヤブ漕ぎする区間も多く、登山にはお勧めできません。

分水嶺上には参勤交代北山道の権若峠があります。この北山道は土佐藩山内家が参勤交代のため、高知の城下から香川県の丸亀に向かう際に通ったとされ、また、坂本龍馬が剣術修行のため江戸に向かう際や板垣退助も土佐藩から出国する際にもこの道を通ったと云われています。



国道 33 号線の根曳峠



桧の風倒木



広葉樹の風倒木



桧の風倒木の上を歩く岳



ウラジロ(シダ)を突き進む



かわいい顔(カラスザンショウの葉痕)



参勤交代北山道 権若峠

12月2日は、南国市井ノ沢から工石山まで歩きました。このコースは、三辻山近くの檜山峠まではほとんどが植林をしている山で、道の印はところどころありますが、ヤブ漕ぎ、ササ漕ぎ、たまに道という感じのルートです。三辻山南側の檜山峠から工石山までは整備された登山道での登山でした。

工石山は、高知市を流れる鏡川の源流域でもあり、県立自然公園になっており、ファミリーのハイキングにもってこいの山です。天気の良い日は石鎚山などの四国山地も見渡せます。



ササ漕ぎ



ヤブ漕ぎ



道



工石山から見た高知市



工石山から見た四国山地

◇今回歩いた距離 65.7km

◇今回歩いた分水嶺の距離 37.5km 今まで歩いた距離 134.0km / 全長約 402km

◇分水嶺制覇まで、残り約 268km